

【評価報告書】

学校法人江楠学園
にじのはねこども園
認定こども園第三者評価結果報告書

報告内容	公表／非公表	ページ
運営法人情報	公表	P1
理念・基本方針		
施設の特徴的な取組		
第三者評価結果の総評		P2
第三者評価結果		P3～17
第三者評価確認書類リスト	非公表	P18～P20
第三者評価結果（詳細）	非公表	P21～P37

（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

【運営法人情報】

施設名称	にじのはねこども園
運営法人名称	学校法人 江楠学園
施設種別	幼保連携型認定こども園
代表者氏名	理事長 江口敏文
施設所在地	佐賀市鍋島町大字蛸久 646 番地 3
電話番号	0952-30-0545
FAX 番号	0952-30-0546
ホームページアドレス	https://www.nijinohane.jp
メールアドレス	nijihane@song.ocn.ne.jp
事業開始年月日	平成 26 年 4 月 1 日
保育者数・職員数	46 人
施設・設備の概要	園地総面積 6,346 m ² 園舎敷地 1,008 m ² 運動場 3,235 m ²

【理念・基本方針】

子どもの尊厳を守りながら体と心に優しい保育、そして保育者も楽しむ保育を目指す。保育者が保育を楽しんでいれば、子どもたちも同様に楽しい。子どもたちが園生活を楽しんでいれば、通わせている保護者も楽しい。「笑顔・元気・好奇心」が基本理念。笑顔が溢れる園生活ならば、子どもたちも元気に過ごすことができ、小学校へつながる好奇心も生まれていく。

【施設の特徴的な取組】

子どもたちが遊びの中からいろいろな力をつけていくことは基本的な事だか、今年の方針として保護者により一層寄り添うことを定めている。コミュニケーションをとり、保護者にも当園の保育を知ってもらうために、公開保育をはじめ、様々な行事を保護者を巻き込みながら進めていく。

【評価機関情報】

評価機関名	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
評価実施期間	令和 7 年 1 月 25 日
評価者	H29A00736、H29B00644
ECEQ®コーディネーター	EH27410172、EH27410171、ER04410400、EH29410255、ER05410413、EH30410315

【総評】

●総合評価

評価〔 A 〕

教育・保育面では、園長先生のリーダーシップのもと、園の保育方針を全体で理解し、明るい職場環境において教職員が一体となって子どもたちの活動を支え、また教職員同士も良好な関係性を築いている。

運営面では法人内に複数の学校種があり統一の理解が難しい中、法人理事の園長高尾先生が教職員の意見を聞き問題提起し改善を図っている。画一的な運営ではなく、各学校種の教職員間と課題を共有でき改善をする法人だと感じ取ることができた。

●特に評価が高い点、園の良さ等

子どもたちが好きなことに取り組み、のびのびと過ごし、主体的に様々な活動に取り組んでいる。教職員の子どもへの関わりも、やさしく丁寧で肯定的に行われている。また、教職員同士の同僚性の良さが感じられた。

運営面では教職員間で申し出があった課題を聞き取り、トップリーダー・リーダーが長期・中期・短期的な課題を理解し課題改善に取り組んでいる姿勢が評価の高い点として挙げられる。

●課題、改善を求められる点

園内環境においては、備品等の不具合や衛生管理の面で日頃からの管理、点検、対応が求められる。

運営の改善としては、各種マニュアル等は整備され教職員間での共有は図られているが、避難経路の確保や安全面での配慮については改善を求める。

●第三者評価結果に対する法人・施設のコメント

保育の専門的な視点をもっておられる外部の方に評価をいただくことは、自園の良さや課題を冷静に分析することができ、保育の質を上げることに大きな効果をもたらすことになる。安全面においては慣れの中で、気づかなかったことが見付き、すぐにできること、長期の計画ですべきことなど、整理ができた。保育においても肯定的な視点、専門的な視点でのアドバイスは今後の保育の方向付けの参考になった。評価を受けるということは現状に甘んじることなく、更なるパワーアップのきっかけになることだと思う。

【第三者評価 結果】 ※本報告書内での公開保育とは ECEQ®公開保育をさす

I 保育の公開に伴う保育のプロセス評価

1. 事前訪問時に抽出された自覚的な良さや課題

(良さ)

- ・くりかえし公開保育に取り組み、改めて自園の幼児教育の自己点検と質向上を図りたいという姿勢がある。
- ・管理職からの指示を減らし、保育者からのボトムアップを意識している。
- ・子どもの思いに寄り添った主体的な保育を心がけている。
- ・保育者が楽しく保育を実践していることが、子どもたちの遊びの意欲につながっている。
- ・トップリーダーと保育者との間に大きな齟齬や乖離がなく良好な関係性を築き、園全体の方向性が一致している。

(課題)

- ・保育者不足による余裕のなさ。
- ・保育者間の交流や情報共有が少ない。
- ・園内研修の不足。
- ・保育室の整理整頓。

2. 公開保育実施前後における課題等

①公開保育実施時の課題等

〈0歳児 ちゅうりっぷ組〉

- ・遊びの中で身近な人と関わりがあったか。
- ・他園での「動」の姿と「静」の姿の様子。

〈1歳児 たんぽぽ組〉

- ・子どもたちが安心して感性豊かに表現して遊ぶ姿があったか。
- ・他園での1歳児クラス的环境構成。

〈2歳児 すみれ組〉

- ・身近な環境に自ら関わる中で出てきた、つぶやきや子ども同士でのやりとりがあったか。
- ・子どもたちと保育者とのやりとりの中で一人ひとりの気持ちを受け止めたり、寄り添ったりする温かい関わりができていたか。

〈3歳児 もも組〉

- ・保育者が愛情を持ち、一人ひとりに寄り添いながら関わることであったか。

- ・遊びにつながりや子どもたちのイメージが膨らむような環境構成ができていたか。

〈4歳児 きく組〉

- ・興味のある世界観や環境で子どもたちが遊ぶ中で、子どもたちが不思議さや面白さなど、どのようなことを発見していたか。
- ・友だち同士で自分の考えや相手の気持ちを伝え合い、遊びを共有する姿があったか。

〈5歳児 ばら組〉

- ・保育者が子どもたちに対して遊びに興味を引くような言葉かけや関わりはあったか。
- ・本日の遊びを見て、今後遊びがより楽しくなったり、発展したりするためにはどのような環境づくりがあるか。

②公開保育後の協議会における外部から見た良さや課題

(良さ)

〈0歳児 ちゅうりっぷ組〉

- ・保育者の声かけが多く子どもの表情が豊か。
- ・子どものやり取りに言葉を添えて伝える保育者の姿。
- ・滑り台に登る、滑る等で手先足先まで全身運動ができている。
- ・ゆっくりと過ごせる仕切られた空間。

〈1歳児 たんぽぽ組〉

- ・子どもが自分の好きな遊びを見つけながら遊んでいる。
- ・保育者は子どもがやりたい遊びを制止するのではなく温かく見守っている。
- ・子どもたちは多様な環境の中で飽きることなく保育室を探索して楽しんでいる。
- ・子どもと保育者の会話が多く、安心感や興味関心の広がりにつながっている。

〈2歳児 すみれ組〉

- ・遊びの中で子ども同士の活発なやり取りがある。
- ・同じイメージを共有して遊びを楽しんでいる。
- ・子どもたちの興味関心をもとに環境を整えている。
- ・一人ひとりに合った対応に温かさを感じる。
- ・子どもたちの活動を制止するような声かけがない。
- ・保育者同士の信頼関係（アイコンタクト）が素晴らしい。

〈3歳児 もも組〉

- ・保育者の関わりや接し方が丁寧で子どもたちが安心して過ごしている。
- ・保育者と子どもが共に遊び込んでいて全員が楽しそう。

- ・遊びが発展していくような環境と素材の準備が良い。

〈4歳児 きく組〉

- ・興味を惹く工夫や想像力をかき立てる仕掛けが楽しい。
- ・多様な素材を使って好きなように表現できる環境づくり。
- ・光と影の色や形の変化に興味を持ち、オリジナルの照明を作ろうと試行錯誤している。
- ・子ども同士の教え合いや「できた！」を喜び合う姿がたくさん見られる。

〈5歳児 ばら組〉

- ・子どもたちが自分で考えて行動するような配慮がされている。
- ・子どもの行動や意思を否定しない声かけが良い。
- ・日常の遊びの延長で自然体の保育が展開されている。
- ・集団での遊びを通して仲間意識や達成感を味わっている姿が見られる。

(課題・質問)

〈0歳児 ちゅうりっぷ組〉

- ・布製品などの消毒や洗濯方法について。
- ・環境構成の意味や意図について。

〈1歳児 たんぽぽ組〉

- ・コーナー遊びは時期によって変わるのか。
- ・子ども自身の安全管理や遊び方が上手だが、どのような流れで今に至っているのか。
- ・玩具が多くあるのにトラブルになることなく活動している。

〈2歳児 すみれ組〉

- ・高所やロープで遊ぶ際のルールは。
- ・午睡や給食なども同じ部屋なのか。
- ・環境が豊かだからこそ、片付けや掃除はどのようにしているのか。

〈3歳児 もも組〉

- ・遊んだものの片付けについて
- ・クラス編成時の配慮について。

〈4歳児 きく組〉

- ・特になし。

〈5歳児 ばら組〉

- ・今回は長さを測る活動だったが、重さを量る活動もいいかも。
- ・保育室に物差しがあると興味関心が深まるのでは。
- ・絵本や図鑑から保育のヒントを得てはどうか。

3. 事後の園内研修において整理された良さや課題ならびに課題解決の方策

(良さ)

- ・公開保育に取り組んできたことの意義を噛み締めることができた。
- ・どのクラスも保育者が丁寧に関わり、遊びの環境が豊かであった。
- ・廃材を活用した手作り遊具など、子ども自身が興味関心に応じて選択できる環境の豊かさ。
- ・子どもの遊びに寄り添う保育者の丁寧な関わり。
- ・子どもの年齢や状況に応じて心情を汲み取った共感的な言葉かけ。
- ・遊びのモデルとして子どもと共に遊びこむ姿勢。
- ・指示や命令や禁止の言葉を安易に使わない言葉の選択。

(課題)

- ・ダイナミックな遊び環境からくる安全管理や見守りの困難さ。
- ・遊び方のルールや整理整頓。
- ・クラス単位で遊び方やルールを定めるだけでなく、園全体でリスクと価値に関する共通認識を持つ必要性。
- ・良さを伸ばしつつ、継続して同僚性、協同性を高める。
- ・園レベルや個人レベルで向き合う課題、短期的や中長期的に取り組む課題等を整理し協議し続ける。

Ⅱ. ヒアリング等・書面等による評価

<A 教育・保育>

①子どもの人権、安全と健康

	調査項目	確認結果
1	一人一人の子どもの家庭環境や人種、文化等の違いを知り、異なる意見や価値観を認めあう心を育てよう努めている。	済・未
2	子どもや保護者、同僚を傷つけるような差別的な言葉や態度をしていない。	済・未
3	身体、性、年齢、発達之差等、生来的な差によって子どもに不当な不利益を与えるような言動やシステムがない。	済・未
4	園庭の環境（空間と遊具）や室内の環境（家具や動線）の安全性を、保育の中で注意・改善する視点がある。	済・未
5	子どもの成長や食べる意欲が大事にされた食育（食べることの全ての営み）がなされている。	済・未
6	園生活に必要な一つ一つの生活習慣が、保育者と子どもに、共に大切に扱われている。	済・未
7	全ての子どもが「いる」だけで認められる、心理的な安全・安心が子ども集団（学級）のなかにある。	済・未
8	園生活の中で、大切にしたい信心（特定の宗教を含む）が自然と保育に融けこみ、子どもたちに愛情や感謝の気持ちが育っている。	済・未
(コメント) 各クラスにおいて、子どもたちの主体的な活動が繰り広げられ、一人ひとりの思いが表現されるよう保育者が丁寧に寄り添い、子どもたちがのびのびと活動している様子が伺えた。		

②保育者等の資質向上・研修

	調査項目	確認結果
1	豊かな人間性を備えた保育者になることを、園として大切に考え支援している。	済・未
2	保育者等の資質向上のためには、遊びと生活の専門性を高めることが必要であるという共通理解のもとに、教育・保育が行われている。	済・未
3	自園の教育・保育理念を十分に理解し、日々の実践に活かしている。	済・未
4	公開保育を通して、教育・保育の質を高める取組ができている。	済・未
5	職場における同僚性の向上を意識し、保育者集団としての力量を高めようとしている。	済・未
6	保育者等一人一人が社会人としての自覚をもち、その役割を果たすことができるように、組織的な取組をしている。	済・未
7	子どもと関わることを喜び、子どもの遊びが豊かに展開されるような教育・保育をしている。	済・未
8	保育者等一人一人が向上心を持って、研修など様々な学びの機会を得ようとする風土が園としてできている。	済・未
(コメント) 公開保育に繰り返し取り組む等、園全体として教育・保育の質向上を続けようとする姿勢が見られる。自園の教育・保育理念を理解共有し、保育者同士の学びあおうとする姿勢が伺えた。		

③教育・保育における実践

1) 子ども理解

	調査項目	確認結果
1	乳幼児期の発達過程を踏まえながら、一人一人の子どもの内面的な心情や意欲をくみ取り、様々な力を培っている姿を保育者全体が理解しようとする風土を持っている。	③済・未
2	子どもの姿や育ち、実践について様々な手法（日誌、環境図、エピソード、写真、動画等）を用いて記録し、一人一人の子ども理解に努めている。	③済・未
3	子どもの記録を園内での振り返りや園内研修等に活用し、子ども理解の共有を保育者間で図り、必要な援助を考え環境の構成を見直すなど、保育の計画に活用している。	③済・未
4	遊びや活動の意味についてそれが子どもの成長とどう関連しているのか、記録を通じて理解し、実践に繋げようとしている。	③済・未
5	園での子どもの育ちを保護者と共有しようと心掛け、家庭環境や家庭での育ちの状況も考慮しながら、子ども理解の幅を広げようと努めている。	③済・未
6	特別な配慮を必要とする子ども一人一人の理解に努め、その子に応じた個別の指導計画を作成し、必要な援助を組織的、計画的に実践につなげている。	③済・未
7	特別な配慮を必要とする子どもの家庭や専門機関、小学校等とも連携しながら、家庭支援や引継ぎ等における特別支援教育の幅広い環境整備を心掛け、多面的なアプローチで子ども理解を図っている。	③済・未
(コメント) 子どものつぶやきや気付きを受けとめ、興味・関心を読み取りながら子どもたちの主体的な活動の展開を支えている。 連絡アプリを用いて子どもの姿や育ち、実践について記録し活用している。		

2) 教育・保育の計画

	調査項目	確認結果
1	幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程と指導計画は、子どもの発達の姿から、自園の教育・保育理念と、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に即して作成している。	済・未
2	子どもの発達の過程や発達の連続性を見据え、各園の教育・保育の理念や目標に基づいた保育計画によって実践を展開するために月案や週案等を作成して、実践につなげている。	済・未
3	日々の実践を振り返り評価し、明日の実践に反映し、教育・保育の質が向上するように計画を見直している。	済・未
4	個別に対応する必要がある場合については、個別の指導計画を作成している。	済・未
5	保護者の理解と支援の下に実践ができるように幼稚園ないし幼保連携型認定こども園の全体的な計画における教育課程は、保護者等に開示されている。	済・未
6	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解が深まる仕組みがある。	済・未
7	計画は実践につながりながら、気候やその日の子どもの状態等に即して柔軟な対応がなされている。	済・未
(コメント) 園の教育・保育理念をもとに、全体計画、教育課程、指導計画等が作成され、日々の教育・保育活動につながっている。子どもたちの興味・関心・発想を大切にしながら、保育者の意図も織り交ぜ、子どもたちの活動が広がり継続するような取り組みがなされている。 特別な配慮を必要とされる子どもについては、個別の指導計画等の作成が求められる。		

3) 環境の構成

	調査項目	確認結果
1	＜園舎等の空間＞子どもたちが遊び込むことができる時間の配慮、自由な遊びコーナーなど、子どもの自主性・自発性を尊重すると共に、子ども同士の関わりや遊びが豊かに行われる空間環境が工夫されている。	③済・未
2	＜遊具・家具・絵本・廃材などについて＞子どもの成長に合わせた遊具や絵本が、子どもの手の届く場所に適切な量で用意され、子どもが自由に選び、興味をもって関わり、考えたり、試したりして工夫して遊びを展開できるよう配慮されている。	③済・未
3	＜園庭について＞外気に触れ、自然を感じ、興味を持って自ら移動、探索する楽しさを存分に味わい、体を動かす楽しさを味わうことができ、かつ、子どもが安心して遊べる安全面に配慮された園庭等が確保されている。	③済・未
4	＜動植物の飼育、栽培について＞身近な動植物に親しみを持って接し、飼育や栽培を経験することで生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする環境が確保されている。	③済・未
5	＜表現活動について＞多様な表現活動を経験でき、自ら興味を持って関わり楽しめる工夫や継続して活動できるような環境の構成がされている。	③済・未
6	＜数量・図形・文字標識などの環境について＞数量や図形、文字や標識に自然に触れ合えるような環境が工夫されている。	③済・未
7	＜衛生管理について＞施設内の清掃が行き届いており、保育室・トイレ等の清潔が保たれ、子どもたちが使用する備品類の消毒が行われている。また、自分の健康に関心が持てる工夫や、病気予防のための配慮がされている。	③済・未
8	＜メンテナンスについて＞手洗い場や机・椅子等、子どもの身体にあった大きさを整えられ修繕されている。	③済・未
(コメント) 充実した園環境が構成されている。子どもたちの発想がクラスでの活動へと広がり、そこに保育者が適宜関わり、子どもと共に環境構成されていた。 一方、備品の整備や管理の不具合等が見られたので改善が求められる。また、冬期ということもあったが、植栽、花等の環境が少ないように感じられた。		

4) 実践

	調査項目	確認結果
1	乳幼児期にふさわしい生活が展開されている。 (1)子どもが保育者を信頼し、自分が受け入れられ見守られているという安心感を持って生活できるような配慮をしている。 (2)興味や関心に基づいた直接的、具体的な体験の積み重ねを大切にした教育・保育が行われている。 (3)子どもが友達と十分にかかわって生活できるような配慮をしている。 (4)子どもの発達の過程に応じて、適切な運動と休息をとることができるようにしている。 (5)在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている。	③・未
2	子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している。 (1)子どもが主体的に、遊び込める時間と空間を保障している。 (2)子どもが自分の目的を持って、考えたり、試したり、工夫したりする過程を大切にしている。 (3)子どもの主体的な活動を促すために、保育者が多様な関わりを持ち、様々な役割を果たすように努めている。 (4)子どもが周囲の自然に親しみをもち、それらを生活や遊びに取り入れたり、生命を大切にする気持ちが養われたりするような援助をしている。 (5)子どもの発達の過程に応じて、協同して遊ぶ活動を取り入れ、友達同士が互いの存在を認め合い、一緒に遊ぶ楽しさや喜びが味わえるような援助をしている。	③・未
3	遊びを通した総合的な指導を行っている。 (1)子どもが主体的に環境にかかわって遊びを展開する中で、心身の発達にとって必要な経験が相互に関わりながら積み重ねられている。 (2)子どもが発達していく姿を様々な側面から総合的に捉え、指導している。	③・未
4	子ども一人一人の特性や発達の過程に応じた指導をしている。 (1)子ども一人一人の発達の過程や生活環境等を把握し、その子の発達の特性や発達の課題を理解して指導をしている。 (2)子どもが主体的に周囲の人や物に働きかけることができるよう、環境の構成を工夫している。 (3)子ども一人一人が自分の思いや考えを出していく中で、互いの違いを認め合い、尊重し合う心が育つような援助をしている。 (4)特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の教育・保育に当たっては、ほかの子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している。	③・未

5	行事等を通して、園生活に変化や潤いを与えられるよう工夫している。 (1)季節の行事や誕生会等を通して、子どもが季節感や文化などを体感できるようにしている。 (2)子どもが行事に期待感を持ち、主体的に取り組んで、喜びや感動、達成感が味わえるような配慮をしている。 (3)園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加したりする等、子どもが地域の人々と交流し、社会に対する興味や関心を持つような機会を作っている。	済・未
(コメント) 子どもの興味・関心を読み取りながら援助し、環境構成し、子どもたちが主体的に活動している姿が見られた。		

5) 記録・振り返り

	調査項目	確認結果
1	個人の記録や集団の記録、エピソード記録等、子どもの状態と園の方針や仕組み等の状況に応じて、必要な記録を適切に行っている。	済・未
2	記録を客観的に振り返ったり、保育者間で話し合ったりして、次の教育・保育の計画に活かしている。	済・未
3	適宜、実践の振り返りと評価をする機会がある。	済・未
4	情報共有ができる同僚性の豊かな保育者集団の中で、園としての評価結果の共有や課題発見が行われ、計画・実践に適切に反映されている。	済・未
5	園内で共有された子どもの育ちや実践の過程、または評価結果について、保護者や地域社会等の園外に向けて適切に発信し、共有していく努力をしている。	済・未
(コメント) 園便りやクラス便り、保護者への連絡等は連絡アプリも活用しながら園での活動の周知がなされている。 日々の教育・保育においては必要十分な記録・振り返りが行われているが、行事等においては実践に対する振り返り・評価への取り組みが一層望まれる。		

④家庭や小学校、地域との連携

	調査項目	確認結果
1	小学校教育との円滑な接続のために教育・保育の内容を工夫している。	③済・未
2	子どもの成長発達について保護者との連携を行い、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている。	③済・未
3	自己評価・学校関係者評価に取り組み、その結果を保護者や地域に伝える等、園全体で教育・保育の質の向上のために改善がなされるよう手立てを行っている。	③済・未
4	子育て親育ちの場として、地域における子育ての支援に関するセンター的役割を果たしている。	③済・未
5	教育時間終了後等に行われる保育は、子どもの生活にふさわしい指導計画の下に行っている。	③済・未
6	地域の資源を積極的に活用し子どもが豊かな生活体験を得ることができるような機会を設けている。	③済・未
(コメント) 保護者との連携においては、連絡アプリ等を積極的に活用する等、適宜行われている。 地域との連携においては、定期的に未就園児対象のつぼみ教室を行う等、子育て支援に関するセンター的役割を果たしている。 教職員個人の自己評価は行われているが、今年度取組中の園自己評価、学校関係者評価の継続が望まれる。		

Ⅱ. ヒアリング等・書面等による評価

< B 運営 >

①運営体制

	調査項目	確認結果
1	教育・保育に対する理念や方針が明確である。	済・未
2	コンプライアンスを遵守し、管理体制を構築している。	済・未
3	会計事務を適切に行っている。	済・未
4	人材確保や継続して勤務できる職場環境である。	済・未
5	教育及び保育の質を向上させるための運営体制が整備されている。	済・未
6	適切な教育環境を維持するために必要な財源が確保されている。	済・未
7	学校評価を実施している。	済・未
8	適正な法人運営を行っている。	済・未
(コメント) 学校法人江楠学園はにじのはねこども園のほかに高校、専門学校、保育園を運営し、組織内には学園本部があり、コンプライアンスを遵守し評議員会・理事会も適切に実施し適正な法人運営を構築している。令和5年佐賀市指摘事項にある自己評価も、令和4年度まで実施してきたこと令和5年度に実施できなかった理由、令和6年度は計画的に実施することも確認できた。自己評価は義務であり学校関係者評価と連携している。適切に実施し公表、設置者等への報告、教育や運営の改善に役立てる評価になれば教育・運営の質の改善へとつながっていく自己評価となる。教職員間で連携を取り年間事業計画等で予定を組み確実な実施へと繋げることをお願いする。		

②安全管理

	調査項目	確認結果
1	自然災害や事故等を想定した危機管理マニュアルを策定し、訓練を実施している。	③済・未
2	教育・保育における危機管理マニュアルを定期的に見直している。	③済・未
3	園舎、遊具及び車両の安全点検や環境のチェックを定期的に行い、必要に応じ改善を行っている。	③済・未
4	園児の衛生・健康管理に努めている。	③済・未
(コメント) 特に評価することとして災害や事故、防犯等を想定した危機管理マニュアルが整備され周知されていた。避難・防犯訓練も実施し消火活動訓練も毎月行われていることが確認できた。保護者も出入りする玄関にも危機管理マニュアルから抜粋した必要事項や・避難経路等が掲載されている。災害時のアナログ行動にも対応した取り組みであり有事の際に保護者もすぐに対応ができる取り組みだと評価する。防犯にも意識した園であり、園庭を見通せるように工夫し外部に接する門等の施錠等も確認できた。 危険な箇所として気付いた点として、保育室の戸を外しての立てかけ、割れた温度計、トイレの洗剤・薬剤の誤飲等への配慮、非常階段下の荷物、組み立て式プールの固定無し、排煙ダクトのハンドル故障を指摘する。 教職員で室内園庭の危険箇所チェックや危険の共通理解を図ることで適切な安全配慮をお願いする。		

③子育ての支援

	調査項目	確認結果
1	子どもの発達や学びが、小学校教育につながるよう小学校との連携をはかったり、地域の関係機関や団体と連携をはかっている。	済・未
2	園児の成長を通じて、保護者の親育ちを支援する取組を行っている。	済・未
(コメント) 幼保小連携ではすぐ近くの鍋島小学校と架け橋期のカリキュラムを見据えた連携をしていることを確認できた。今後架け橋期のカリキュラムへの反映も期待したい。保護者支援では、教職員と保護者との距離も近く接していることが印象に残った。入園前に保護者支援を行っていることも確認できた。		